

# 進路指導室へようこそ

前橋女子高校進路指導部

令和5年度 MJ 進路通信 第40号

令和6年2月9日（金）発行

## ■ 3年間の授業が終了しました

本日をもって3年生の授業はすべて終了し、来週から家庭学習期間に入ります。25日から始まる国公立大前期入試に向けていよいよラストスパートに入るわけですが、3時間目には全体集会が行われ、家庭学習期間中の諸連絡と激励が行われました。受験による公欠の3年生も多数いましたので、進路関係の事務連絡と激励のコメントを掲載しておきます。3年生の諸君、最後までプレーキをかけずに本番まで突っ走ってください。

### 事務連絡

○家庭学習期間の学校での過ごし方（担任から指示があった通りです）。学校や職員室に入れない日に注意。

○**重要**私大の受験結果報告は、結果が判明次第すぐに（目安は10分以内）担任に連絡すること（後でまとめて報告は×、どの方式で合格したのかも含め詳細に伝えること）。「徳を積む」心がけはこういう時の態度に現れます。

○合格体験談 3/15（金）予定。担任から依頼があったら快く引き受けてほしい（可能であれば引越しや夢の国は別の日に予定してほしい）。「みちしるべ」の執筆依頼や6/28のPTA 進路講演会での講師をお願いすることもあります。

○皆さんの入試結果データをベネッセ等の業者に報告します（来年度以降の資料作成のため）。個人名が特定されないデータにして送信しますので承知してほしい（事情によりどうしても困るといふ人は連絡を）。

○面接試験を受験した人は後輩のためにも受験報告書を書いてほしい。添削や面接練習でお世話になった先生にも受験後必ず挨拶を（礼儀です）。

○**重要**後期を含め、結果の満足度を上げる選択肢が少しでも残っているのなら妥協せず最後まで挑戦すること。後期入試は欠席率が非常に高く（当然上位層は抜けている）見た目の数字以上のチャンスがあります。これから出願可能な大学もまだあるので最後まで可能性を模索すること。

○私大や国公立大から追加合格の連絡が来ることがあります。少なくとも3月いっぱいには大学からの連絡がすぐに受け取れるようにしておく。

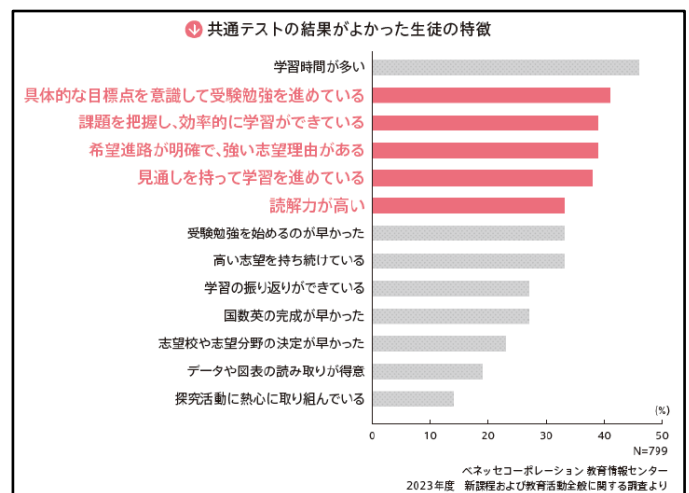
○やむをえず浪人してもう1年頑張る、という人は宅浪ではなく予備校等に所属することを勧めます。学校推薦による割引制度があるので担任に相談を。

## 本番までの心構えについて（概要）

A君の話。入学時より努力を重ねて成績を伸ばし、高校入学時には憧れでしかなかった大学に手が届くレベルまで成長しました。しかし2日制の初日受験後、全く手応えがなかったA君は「やっぱり自分には無理だったんだ」と失望し、同じく手応えのなかった友人B君とその日は夜遅くまで遊びまくったそうです。結果はもちろん不合格。ところが得点開示を見た瞬間A君は頭を抱えて大きな後悔をすることになります。全然だめだと思っていたその試験の結果は、合格最低点にわずか点数足らなかっただけだったのです。3年間、地道に努力を重ねて目標まであと少しのところまで来ていたのに、最後の最後で、しかも入試の途中にも関わらずファイティングポーズをとらなかったことをA君は心の底から反省することになりました。

受験の当落線上数点の中にはたくさんの受験生がいます。試験最後の科目のラスト数分で解けた1問が合否を決めることも普通にあります。最後の最後まで諦めないとはそういうことです。問題集3回繰り返したならあと1周やればよい。添削が終わったなら「もっとやれるのでください」と言えばよい。まだやれることがあるのなら全てをやり尽くして本番に臨んでほしい。「傷つかない」ための努力（言い訳）より、「全力を尽くさなかったことの後悔」が残らないような努力を。

## ■ 学年末考査から共通テストへ



来週から学年末考査。2年生は3月に共通テスト模試が予定されています。新教育課程となり最初の共通テストは、早めの意識が必要と言われます。日々の授業から共通テストを意識した取り組みを。

## ■キャリアプラスのまとめをしよう

MJキャリアプラス < Career + > 7つのProject							
Project	A 外部英語資格取得	B ボランティア	C SSH (探究活動)	D インターンシップ	E 外部の主體的活動	F 大学・研究室訪問	G 教養を深める
獲得する 資質	表現力	主体性・協働	主体性・協働・深い学び	主体性・協働・職業観	主体性・協働・深い学び	主体性、深い学び	深い学び
具体的な 活動	英検、TEAP、GTEC、TOEFL、TOEIC等の資格取得	休日、長期休業を利用したボランティア活動	SSHの探究活動 SS-Lectureやコンテストへの参加	病院、企業でのインターンシップ（職業体験）	明石塾、群馬ユースリーダープログラム、外交官プログラム、地域連携、留学	研究室訪問や高大連携講座への参加	読書。社会・学問の背景知識や(英語以外の)検定取得ex.世界遺産、簿記
大学入試 での使い どころ*	・英語の得点化、免除 ・受験資格	・願書・志願票に「主体的な活動」として記述 ・面接	・願書・志願票に「主体的な活動」として記述 ・面接・表彰	・願書・志願票に「主体的な活動」として記述 ・面接	・願書・志願票に「主体的な活動」として記述 ・面接	・願書・志願票に「主体的な活動」として記述 ・面接	・願書・志願票に「主体的な活動」として記述 ・面接
こんな 意欲で Careerを 獲得して いこう!	資格取得、そして大学入試で得点化、受験機会増となる外部英語資格。一発勝負の「共通テスト」の保険にもなる。毎週受けられる検定もある(英検S-CBT)。「級、スコア」を獲得して、ライバルの「一歩先へ」。	社会とのつながりを意識でき、互助・奉仕の精神を育める。高いハードルに感じるが、まずは一歩踏み出す。自治体に関心させると、ボランティアを紹介してくれる。自分にしか語れない経験を!	SS-Lecture、コンテストに積極的に参加しよう。SSHの探究活動において、課題や仮説、条件の設定、実験、協同研究…その過程が学びとなる。うまくいかなかった時こそ「成長する瞬間」だ。	5年、10年後の自分がイメージでき、そこに向け自分をどう磨いていくかのスイッチとなる。ただ参加するだけでなく、参加後どのような考え、見方になったかまでがこの学び!	学校で学んだ知識が実際の社会でどう使うのか、正解が一つでない現実の問題にどうアプローチしていくのかなどを「実践的、主体的」に活動できるプログラムにチャレンジ。	本やHPでの調べやオープンキャンパスからも一歩踏み込もう。ゼミが体験できる「研究室訪問」や高大連携講座の受講で、大学の学びやレベルの高い専門知識を知り、見聞を広めよう。	「この本に出会い、どのように世界が変わって何を得たか」を語るように。数学検定など色々な検定に挑戦するのもいいね。志望する職種、学部、背景知識、時事問題を知り、自身がどう関わり、どう考えるのかをまとめるんだ。

1・2年生の皆さんは、この1年間さまざまなキャリアアップの機会に触れてきたと思います。年度末を迎えるこの時期に1年間の活動を振り返り、活動内容やそこから学んだことを整理しておいてください。コンセプトは「ここでまとめたことをそのまま志願理由書に書き写せば提出可能な状態になる」ようにしておくことです。来年度あらためて「MJキャリアプラス」の活動がスタートしますが、1段レベルが上がった活動になるように、ここまでの記録をきちんとまとめておきましょう。

## ■先輩からのメッセージ

後輩の皆さん、ひとまずテストお疲れ様でした！ものすごい成績をたたき出したとのことですが、あの難問に目を通したことから素晴らしいと思います…私はもう問題を見ることもだめになってしまっていました(笑)。なので、まずは自分で自分をまずほめておきましょう。そして、過ごし方ですが、とにかく学校で勉強していました。家だと集中できないからというのがありますが、もうひとつ友達と会うためというのもありました。クラスメイトや部活の仲間と、挨拶だけでも勉強に関係ない話でもいいから話して気持ちを楽にしようとしていました。話して、「よし、この後も頑張ろう」と気持ちの切り替えができました。モチベーションの維持にも結構役に立ちます。卒業してしまったら話せるかもわからない、何でもない会話がリフレッシュになっていました。

勉強で何をやるかですが、もう今までやったことを復習すること、英語や社会科の単語を詰めることしかないです。私も日本史の用語の復習と今までやってきた問題の解きなおしだけを何回もしていました。記憶の定着の面からも、メンタルにも関わるのでこれまでの自分を信じるべきです。

これは私がお話したいだけなのですが、終わったあとだけではなく受験期間でも周りへの感謝を忘れないべきだと思います。私の親はほとんどの入試についてきました。当時は観光目当てだろうと思っていましたが、後輩にアドバイスをするようになってから気づきました、親は私が心配だったのだろうと。本番前には好きな晩御飯を買ってきてくれたりしていたのに、今更気づきました。この時期に親を嫌に感じる人もいるかもしれませんが、でも想像以上に自分のことを応援してくれている人がたくさんいるというのを少しでもわかっておくべきだと私は思います。

皆さんのラストサポート、応援しています！ 明治大学文学部演劇学科1年 Aさん

卒業した先輩方から3年生に向けてエールを送るのは、今回が最後になるかと思います。この1年間、たくさんのOGが後輩のために協力を申し出てくれました。本当にありがたい限りです。3年生の皆さんには、卒業後ぜひ「TEAM—OG」としての仲間に加わっていただき、後輩のために様々な情報提供や支援をお願いしたいと思っています。後ほど募集依頼の連絡を3学年 classroom のストリームに配信しますので、協力していただける方は登録をお願いします。